

パブリックコメントに意見を述べましょう

対 象	実施時期	所管課 (提出先)
厚木市男女共同参画計画	平成25年1月 4日 ～2月 3日	人権男女参画課 Tel 225-2215 FAX 223-8432 メール 2400@city.atsugi.kanagawa.jp
厚木市立保育所民営化基本方針	平成25年1月15日 ～2月14日	保育課 Tel 225-2231 FAX 221-0261 メール 2200@city.atsugi.kanagawa.jp
第2次厚木市子ども読書活動推進計画	平成25年1月15日 ～2月14日	中央図書館 Tel 223-0033 FAX 223-3183 メール 9000@city.atsugi.kanagawa.jp

厚木市では市民参加条例により、市が計画や条例などを策定するときに、案の段階で市民に公表し、その案に対する意見、要望などを募集し、それらを考慮しながら最終案を決定しています。しかし、寄せられる意見はあまり多くありません。市民参加を实のあるものにするために、皆さんこぞって意見を出しましょう。

それぞれの内容は所管課・市政情報コーナー・公民館等にお問い合わせください。また、市のホームページにも掲載されています。

厚木消防 全国で活動

消防出初め式
1月6日 (日)

迫真の消防署演技

今年の消防署演技は地震を想定。

震度5の地震が発



(上) 建物屋上からはしご車で救助
(下) エアテントは1分で完成。

1月6日(日)の10時、荻野運動公園で平成25年厚木市消防出初め式。昨年は、全国的には竜巻や地震、年末には笹子トンネル事故などの大きな人災もありました。市内で大きな自然災害はなかったものの、市内の火災件数は57件。23年が83件、22年は64件ですから減少傾向でしょうか。救急は年間1万件近くの通報があり、6台の救急車で対応しています。

式典後は、古式消防保存会のはしご乗り、消防車両の行進、そして、自衛消防隊、消防団、消防署の消防演技。

「消防部隊、出動」

多数のけが人があり、エアテントを設置しトリアージ。高所には先端が自由に動く30mのはしご車が活躍。救助工作車も威力を発揮。屋上に救命ロープを発射し、救助に入ります。

阪神淡路大震災以降、大災害に備えて全国から支援をするために、消防組織法により緊急消防援助隊を設置することになりました。全国で4000隊余りあります。

厚木市は当初の2隊から、昨年の4月に登録した救助工作車を含



救助工作車の中は機材が整然と収納されています。

めポンプ車、水槽付きポンプ車、はしご車、救助支援車、高規格救急車の6隊が登録しているとのこと。3・11など、すでに何度も全国での活動にあたっています。

こうした安心があつて、私たち市民の命と財産が守られています。しかし、なんといっても、防災は日ごろの心掛けから。火災警報器は設置済みでしょうか。

パート①

Q 師走の総選挙、弱者にとっては一層厳しい状況となりました。どう受け止めていますか。

A 自民党・安倍政権になり、民主党政権以上に財界のための政治を推し進めていくことで、国民のくらしが壊されていくのではないかと感じています。改めて憲法を学び、くらしを守る国民の意思を一緒に示していきたいと思っています。

Q 今年の抱負についてお聞かせ下さい。

A 平和を守りたい。自分子どもも含めて、市民・国民が戦争によって命を奪われることのないような日本をつくるために力を尽くします。そのためにも憲法9条の改悪はさせない。国防軍などはもったのほかです。

Q 厚木市は「平和都市」宣言をしてから今年で20周年になります。市主催で「憲法を守り、平和を愛する」イベントを開催してはと思いますが、いかがでしょうか。

A 市内ではかつて、市民の原爆展が行われていました。その中で、市が平和宣言をするように署名をすすめ、何回も陳情を重ねました。その結果「国際平和と核兵器廃絶を求める都市宣言・あつぎ」が2003年4月1日に制定されました。

党議員団では、毎年の予算要求に「宣言塔の設置」「市民への平和活動への支援」「8月を中心とした平和月間を設ける」「平和市長会議参加自治体として憲法9条を守るよう国へ要請すること」などを要求しています。

20周年となる今年は、市民と市が一体となった「平和イベント」が実施できるよう働きかけてまいります。

議員団への質問にお答えします。

1月の法律相談は
1月24日(木) 14時～
事前の連絡をお願いします。